

社会資本総合整備計画

金剛地区施設等再整備計画(第2期)

令和8年3月

富田林市

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和08年03月11日

計画の名称	金剛地区施設等再整備計画（第2期）											
計画の期間	令和08年度～令和12年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	富田林市											
計画の目標	面的ニュータウン再生に向けた取組（金剛地区施設等再整備基本構想の実現） 「金剛駅周辺まちなかウォークアブルビジョン」に基づき、金剛地区に「目的地」が増え、多様なアクティビティがまちなかにあふれることで、暮らしの豊かさと楽しさを+できるまちをめざす。 ・+1が生まれる居心地の良い目的地をつくる・歩き・滞在したくなるネットワークをつくる・+1があふれる・つながる仕組みをつくる 金剛駅を中心とした「集まる魅力、広がる賑わい大阪南部の生活・交流・交通拠点」（まちの将来イメージの実現） ・まちの核としての魅力ある駅前空間づくり・広域公共交通ネットワーク拠点としての機能の充実・良好な駅まち空間を維持継続する取組の推進											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	747	A	747	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7年度		R13年度
1	金剛中央線（ふれあい大通り）の歩行者の通行量（平日）（従前値）2,480人/日（目標値）2,660人/日			
	金剛中央線（ふれあい大通り）の歩行者の通行量（平日） 住民主体の活動増加率（R5 R13） 6回/5回=1.2 人口減少率（2025年 2031年）13,343人/14,880人=0.896 = x = 1.2×0.896=1.076（目標値）=（従前値）×	2480人/日	人/日	2660人/日
2	金剛中央線（ふれあい大通り）の歩行者の通行量（休日）（従前値）1,480人/日（目標値）1,590人/日			
	金剛中央線（ふれあい大通り）の歩行者の通行量（休日） 住民主体の活動増加率（R5 R13） 6回/5回=1.2 人口減少率（2022年 2031年）13,343人/14,880人=0.896 = x = 1.2×0.896=1.076（目標値）=（従前値）×	1480人/日	人/日	1590人/日
3	イベント来場者数（従前値）6,500人/年（目標値）7,500人/年			
	まちなか滞在快適性向上区域で開催されたイベント来場者数 小イベント（500人規模）（従前値）1回（目標値）3回 中イベント（1000人規模）（従前値）3回（目標値）3回 大イベント（3000人規模）（従前値）1回（目標値）1回	6500人/年	人/年	7500人/年
4	滞在快適性等向上区域の満足度（従前値）80.0%（目標値）83.0%			
	滞在快適性等向上区域に対する滞在環境に対する満足度 令和7年度の満足度アンケート調査結果（従前値）から毎年度0.5%上昇を（目標値）とする	80%	%	83%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R08	R09	R10	R11	R12				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	富田林市	直接	富田林市	-	-	金剛地区(2期)まちなかウォーカブル推進事業	道路、滞在環境整備、高質空間形成、一体型滞在快適性等向上	富田林市						747	-		
												小計						747		
											合計						747			

(参考図面)

